



みの わ ただ はる
袁輪 忠温

東ポリ株式会社
代表取締役社長

Profile

昭和45年9月生まれ。47歳。
早稲田大学卒。電機メーカーに就職後、東ポリ株の主要仕入れ先の商社に転じ、営業職で商売の知識、人間関係の構築、情報収集について学び、11年間勤務。東ポリに入社後、平成21年に社長就任。スポーツ観戦、旅行が趣味でゲーム好きという意外な一面も。

**特殊包装資材が専門
国内随一の数々はここに**

時代や社会的なニーズも変わり、品質や衛生面、安全性や地球環境への配慮、ユニバーサルデザインなど、産業用包装資材メーカーに求められる生産技術・品質管理は高度化、多様化しています。そのなかで当社は常に新たな独自技術の開発に努め、最先端の設備機器を採用して加工工程の効率化を図り、「副資材を副資材と感じさせない商品に」をスローガンに掲げて品質管理の行き届いた付加価値の高い製品づくりを目指しています。

当社の創業は昭和42年で、町工場から始まった同族会社です。50年以上に渡って培われた技術力や生産力、品質を追求する精神を礎とし、社員たちの創意工夫と地道な努力によって「日本一」を揺るぎなく保つ、いくつもの「顔」を持ち合わせています。

当社第一の日本一は、活鰻の輸送用角底内袋で、国内生産量



▲包装資材といえば脇役ですが、当社製品は世界中で大活躍。「日本一」をつくっている誇りは若い社員たちのモチベーションを上げ、とびきりの笑顔に。

の約9割を占めます。そして海外工場にて生産される角底袋・パレットカバーの輸入量や、大型液体コンテナ内袋の生産量も国内随一を誇ります。当社の特殊な製品は、手加工でつくることが多く、すべての製品に人の心がこもっています。このような製品はAIやロボットにはできません。手加工は文化です。ですから永遠に人から人に受け継いでいってほしい。もっと言えば故郷・焼津のまちとその未来に必ず残したい、大切な文化だと思っています。

地道に少しずつ成長を

当社では機械による全自動生産も手加工生産も、独自の技術力で小ロットや多品種などの別注にもきめ細やかに対応し、業界内外において高い評価を得ています。しかし、それに甘んずることなく今後も「どこにも真似のできない製品づくり」を社員とともに追求します。社員たちは努力を惜しまず頑張ってくれて本当に感謝しています。厳しい世の中にあっても、ポリエチレンという素材があらゆる産

業で使用されているように、包装資材には数多の可能性があります。当社はそのニーズに応えるべく進化し続けます。しかし急激な成長は望まず、しっかりと地に足を着けて、お客様の信頼を得ながら、感謝の気持ちを忘れずに、地道に少しずついいので成長できればいいと思っています。そのためにもこれまで通り、ものづくりの精神が生きる「手間隙を惜しまない」、「感謝の気持ちを具現化した」製品づくりに力を尽くします。

一問一答

- Q1 どのような社風ですか？
A1 社長との距離が近く、風通しが良い。旅行やボウリング大会などは一体感が盛り盛大。
- Q2 社員にとってのやりがいは？
A2 上場企業に負けないくらい、収入・健康・時間のバランスが良好。充実しています。
- Q3 求める人材を教えてください。
A3 有名大手会社との取引も多く社会性も養われます。経験不問。真面目で素直、謙虚な人。

日本一の製品と

文化を未来に

東ポリ株式会社

TSR企業コード：46-002767-0

所在地 〒425-0077 静岡県焼津市五ヶ堀之内666
TEL 054-627-6774 URL http://topoly.jp

創業 昭和42年 従業員数 69名
設立 昭和47年4月 年商 12億2,568万円(平成29年6月期)

優良企業ガイドは▶P193へ!